

みんなの医療

事業所

長野中央病院
南長池診療所
稲里生協クリニック
老人保健施設ふるさと
徳間デイサービスたんぼぼ
三本柳デイサービスミント
戸倉デイサービスゆいっこ
グループホーム栗田ゆうゆう

長野中央介護センターつるが
在宅総合ステーションながの
(ケアマネジャー・訪問介護)
訪問看護ステーションながの
つるがりハビリセンター
ショートステイつるが
高齢者住宅つるがの風

県歌「信濃の国」発祥の地を元気に歩きました

2014年ウォークイベントin妻科

10月25日、抜けるような青空の下、「ウォークイベントin妻科」史跡・碑・裾花水系めぐりが行われました。開会式のあと、組合員・職員72人が長野県庁憩いの広場を出発、健脚コース3.5km、楽々コース2.5kmに分かれて歩きました。

1998年に始まったWHO国際高齢者年ウォークイベントは、「自立」「参加」「ケア」「自己実現」「尊厳」の5つの基本原理を示した国連原則のもと続けられ、近年は、松代、須坂、戸隠、稲荷山を歩きました。

今年の開催地妻科は、妻科神社をはじめとした史跡が多く、善白鉄道跡や県歌「信濃の国」発祥の地としても知られています。またこの地を流れる裾花水系用水路は、古くから長野市内の多くの地域の水田に水を送る役割を果たしてきました。

折り返し地点の里島発電所前では、色づき始めた山々をバックに写真を撮ったり、裾花川の流れを眺めたりして交流を深めました。また、途中の鐘鑄川分水工では案内ボランティアの説明を聞き、熱心に質問する姿も見られるなど、身近な地域の歴史を知ることができました。

(実行委員・藤森京子)

11月22日、県北部を震源に震度6弱の地震が発生しました。被害を受けた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。



県庁を出発!



用水路に沿って

参加者
川中島支部 青島 重子さん
坂の多い妻科地域を歩くという事で楽々コースを選び、裾花川をさかのぼりました。裾花水系の水が分水しながら長野市中の田畑を潤しているとは驚きでした。晴天の中楽しく歩くことができました。

裾花川畔



鐘鑄川分水工にて

参加者
柳原支部 高橋 加代子さん
我が家近くの北八幡川も、「大口分水工」で裾花川から来ていることを知りました。柳原支部からは3人で参加。和服リフォーム班会で作ったリュックに、他支部の方から「型紙を貸して」と頼まれ、良い交流ができました。



参加者
大豆島支部 石川 民子さん
大豆島から11人で参加しました。3.5km約1万歩。「大勢で歩くのって楽しいネ」と新組合員さん。一番驚いたのは、善光寺平の田に水をひくために、裾花川水系用水路が江戸時代にもう造られていたということです。

年末年始休診のお知らせ
長野中央病院・南長池診療所
稲里生協クリニック
12月29日(土)午後
～1月3日(木)
※緊急の場合は長野中央病院にご連絡ください。

組合員さんが語る
平和のための戦争体験が本に!
これが戦争の本当の姿!
「戦争は二度と許さない」
「平和憲法を守る」と綴られた体験談から51人分を収録。
貴重な証言をお読みください
【編集】「みんなの医療」編集委員会 【発行】長野医療生協、長野医療生協憲法9条を守る会 ◆A5判・136ページ・頒価300円(税込) 【申し込み】各支部または地域活動部へ

待合室
クイズ番組で有名大学の現役学生が、二択問題に挑戦していました。その中で、湾岸戦争の勝者を「イラク軍」と回答し、不正解となっていました。湾岸戦争からまだ四半世紀しかたっていないのに、若者がそれを知らないことに愕然としました。しかし、自分自身の学生時代を思い返してみると、確かに近現代の戦争について学習する場はほとんどなかったように感じます。紀元前から順を追って授業を進めるため、授業の遅れのしわ寄せは近現代に来てしまつのです。結果、若者達は自ら学習しなければ近現代の戦争について知識を深めることはできません。未来を創る若者こそ、その戦争について知る必要があるにも関わらず…▼「みんなの医療」に掲載している「平和のための私の戦争体験」。これまで近現代の戦争に触れることのできなかった若者にこそ読んでほしい学習のきっかけとしてほしい。そう願っています。(吉)